

2027年3月期第1四半期 決算短信補足資料

2026/8/7

オカダアイヨン株式会社（東証プライム 6294）

01

業績サマリー (27/3期1Q)

売上高

5,978 百万円 (前年同期比 ▲3.0%)

営業利益

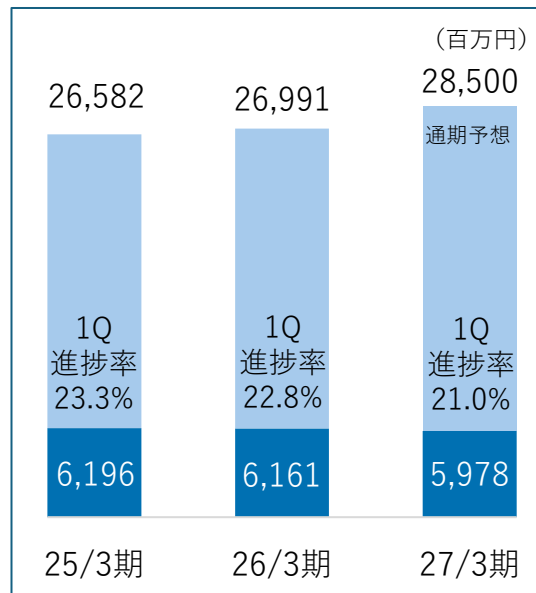
339 百万円 (前年同期比 ▲34.4%)

経常利益

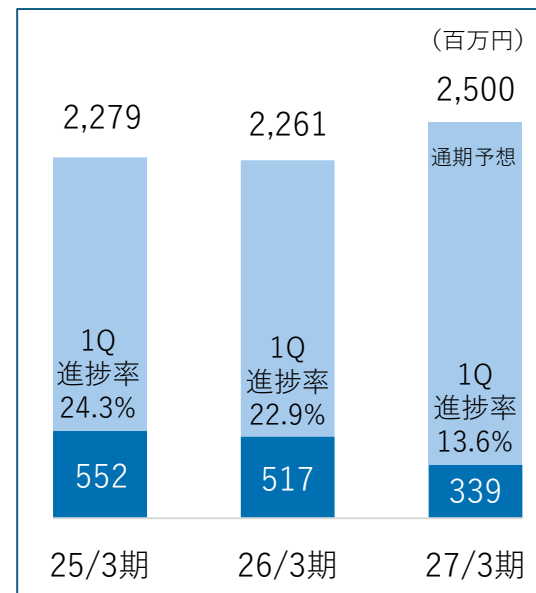
376 百万円 (前年同期比 ▲26.3%)

当期純利益

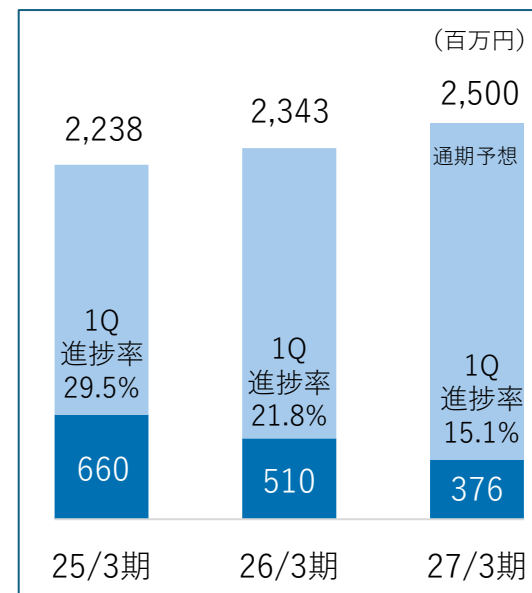
216 百万円 (前年同期比 ▲33.9 %)



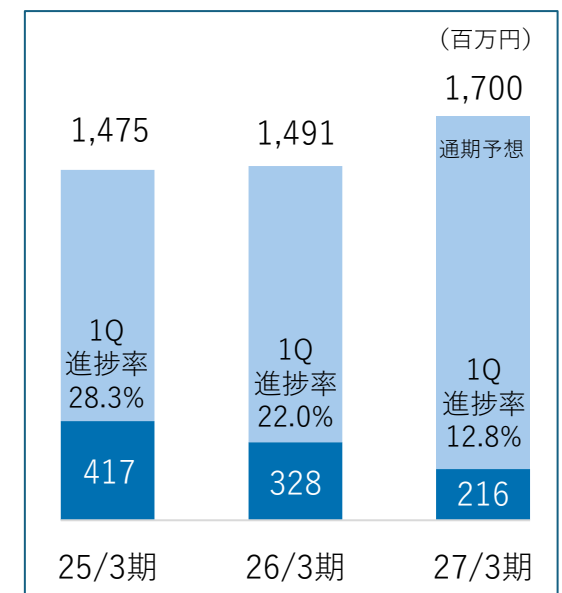
【売上高】



【営業利益】



【経常利益】



【当期純利益】

※金額は百万円未満を切り捨てて表示。増減率は小数第2位を四捨五入／増減額・増減率は端数処理前の数値を基に算出しているため、表示値の差と一致しない場合がある

01

業績（27/3期1Q）及び通期予想

- 全体：1Qは国内圧砕機の落ち込みを主因として、減収・減益／通期予想は据え置き
- 国内：主力の圧砕機が中東情勢や工期遅れ・買い控えで落ち込み、油圧ブレーカ・つかみ機やアフタービジネスの伸びで吸収できず減収・減益
- 海外：欧州が投資抑制で苦戦も、北米の在庫調整緩和とアジア拡大で増収・微増益

（百万円）

	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年同期比		27/3期 通期予想	進捗率（％）
			増減（額）	増減（％）		
売上高	6,161	5,978	▲182	▲3.0	28,500	21.0
売上総利益	1,895	1,833	▲62	▲3.3	—	—
販売費及び一般管理費	1,378	1,493	114	8.3	—	—
営業利益	517	339	▲177	▲34.4	2,500	13.6
経常利益	510	376	▲134	▲26.3	2,500	15.1
四半期純利益（当社株主帰属）	328	216	▲111	▲33.9	1,700	12.8

為替平均使用レート

ドル： 146円
ユーロ：162円

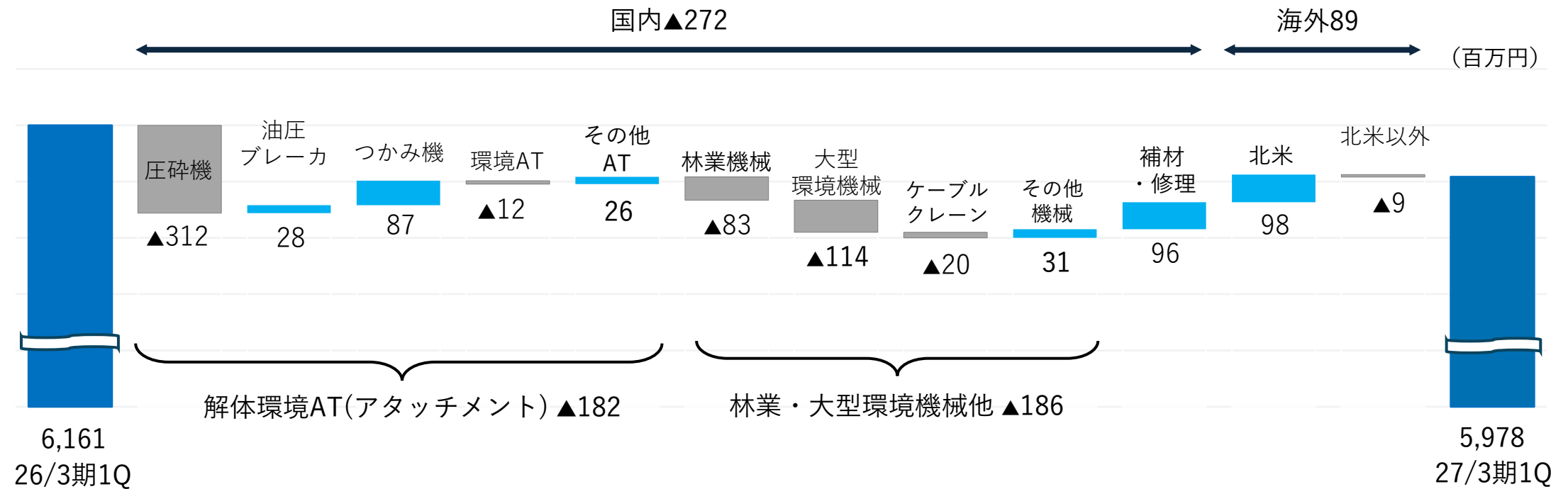
ドル： 159円
ユーロ：185円

ドル： 150円
ユーロ：170円

02

売上高増減要因（27/3期1Q）

- 国内は、圧碎機の減少を油圧ブレーカ、つかみ機、アフタービジネス（補材・修理）で吸収できず減収
- 海外は、欧州の減収を北米・アジアの伸びでカバーし増収



02

機種別売上推移（27/3期1Q）

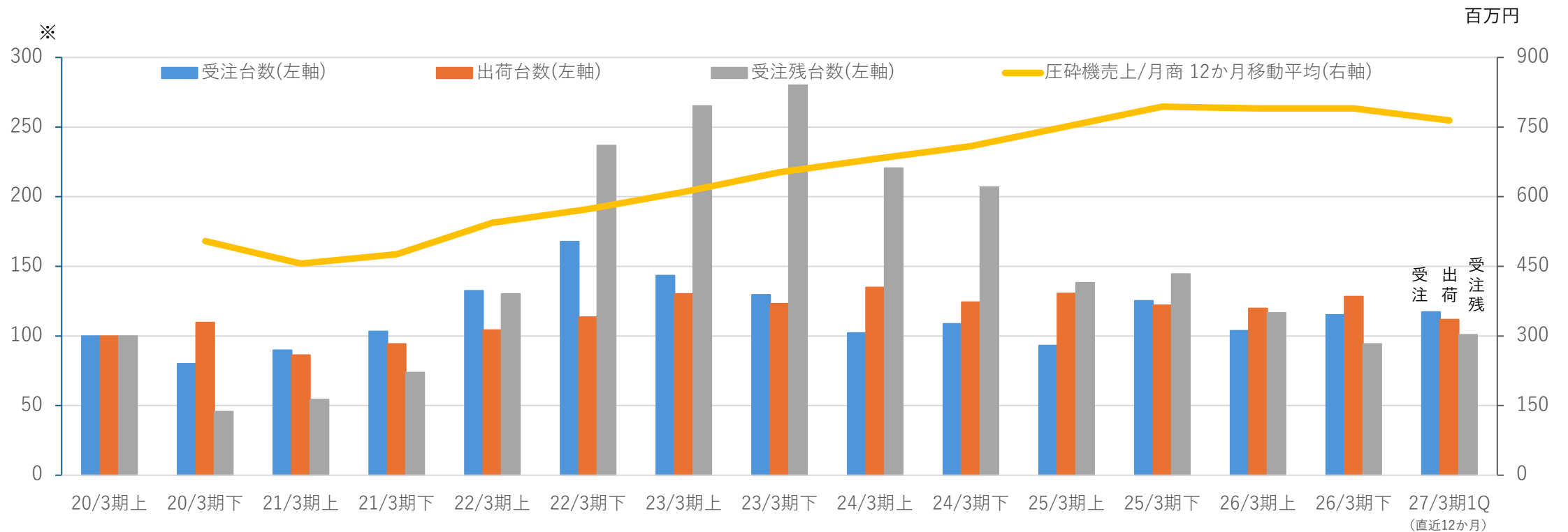
（百万円）

			25/3期 1Q	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年同期比		前々年同期比
						金額	増減（%）	増減（%）
国内	解体環境 アタッチメント	圧碎機	2,238	2,116	1,804	▲ 312	▲ 14.8	▲ 19.4
		油圧ブレーカ	200	225	253	28	12.5	26.5
		つかみ機	344	222	309	87	39.4	▲ 10.1
		環境アタッチメント	125	101	88	▲ 12	▲ 12.3	▲ 29.4
		その他アタッチメント	242	273	300	26	9.9	23.8
		計	3,152	2,939	2,756	▲ 182	▲ 6.2	▲ 12.5
	林業・大型 環境機械 その他	林業機械	446	369	285	▲ 83	▲ 22.6	▲ 36.0
		大型環境機械	193	163	48	▲ 114	▲ 70.5	▲ 75.2
		ケーブルクレーン	244	257	237	▲ 20	▲ 7.8	▲ 2.9
		その他機械	35	23	55	31	135.6	57.9
		計	919	813	626	▲ 186	▲ 23.0	▲ 31.9
	ジャッキ アップ スピン	補材	491	484	523	39	8.2	6.4
		修理	239	291	348	57	19.6	45.3
		計	731	775	872	96	12.5	19.2
国内セグメント計			4,803	4,527	4,255	▲ 272	▲ 6.0	▲ 11.4
海外	北米地域		954	1,209	1,308	98	8.1	37.0
	欧州地域		257	237	199	▲ 38	▲ 16.0	▲ 22.3
	アジア地域（中国含まず）		122	124	167	43	35.0	36.4
	その他		57	61	46	▲ 14	▲ 23.6	▲ 18.8
海外セグメント計			1,392	1,633	1,722	89	5.5	23.7
連結計			6,196	6,161	5,978	▲ 182	▲ 3.0	▲ 3.5

02

圧砕機等主力製品 受注・生産・売上動向

- 受注残は前期末で底打ち、受注がやや回復し1Qは反転
- 解体需要は長期的に見て堅調／足元状況により多少の変動はあるも、底堅い状況との認識



※ 受注台数・出荷台数・受注残台数は、20/3期上を100として指数化

・ オカダアイヨン及びアイヨンテックで製造している製品が対象

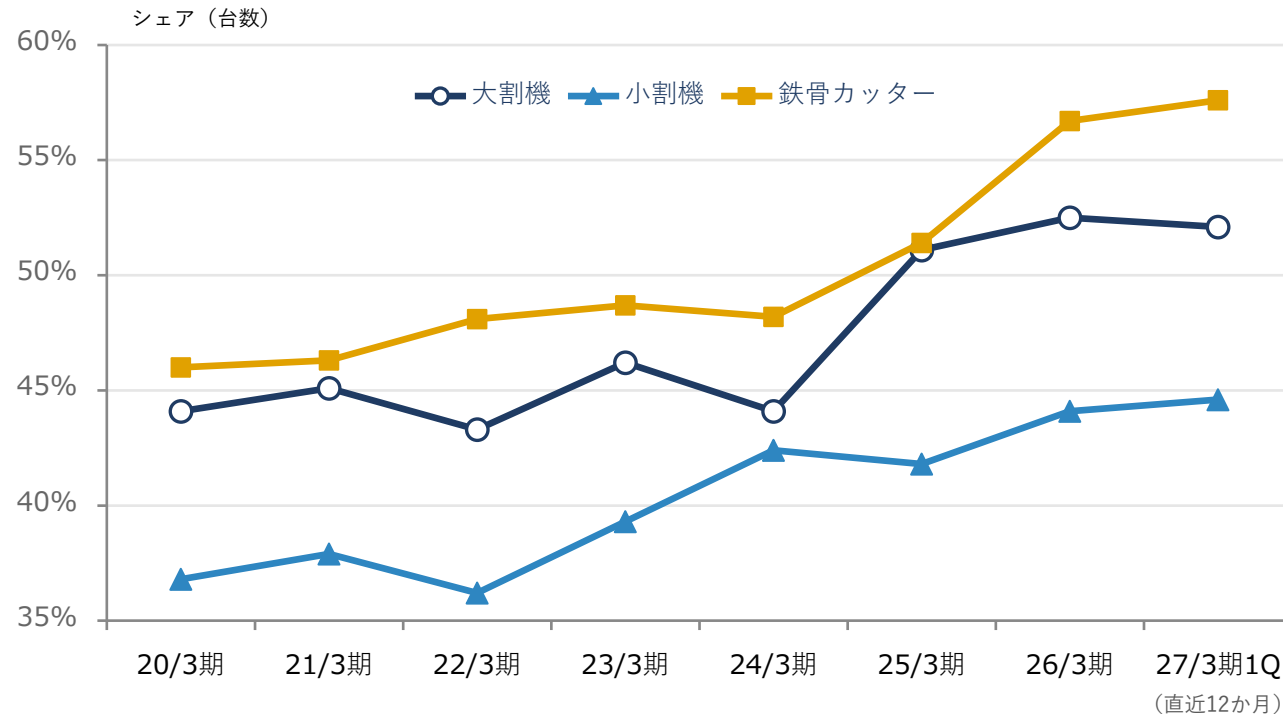
※ 圧砕機売上/月商（黄線）は、四半期単独では季節性の影響を受けるため、当期より12か月移動平均（直近12か月の月商平均）で表示

02

圧砕機等主力製品 国内シェア推移

近年、シェアは趨勢的に伸長／機械の大型化は追い風

- 1Qの圧砕機（大割機・小割機・鉄骨カッター）減収は、当社固有の要因というより市場全体の需要減による面が大きい／
実際、台数シェアでは鉄骨カッター・小割機が伸長し、大割機も高水準を維持しており、市場での競争力は損なわれていない



※ 27/3期1Qは、四半期単独では季節性の影響を受けるため、
直近12か月移動平均（2025/7～2026/6の台数平均）で表示／ 20/3～26/3期は各通期実績



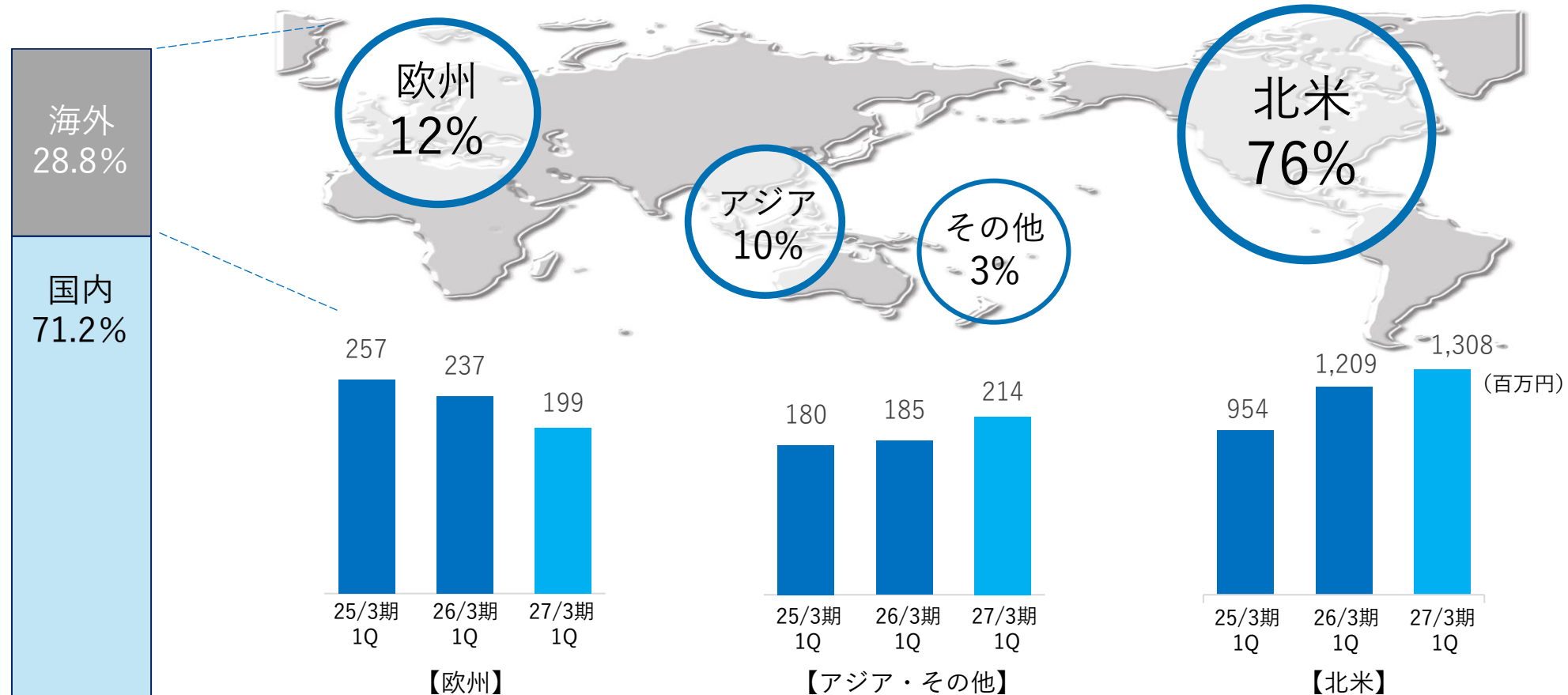
主力製品の
国内シェア
No.1

（日本建設機械工業会（CEMA）発表資料を基に当社作成／台数ベース）

02

海外 地域別売上構成（27/3期1Q）

- 主力の北米は、業界のレンタル在庫調整緩和で回復基調、アジアは台湾・タイで拡大、欧州は投資抑制で減少



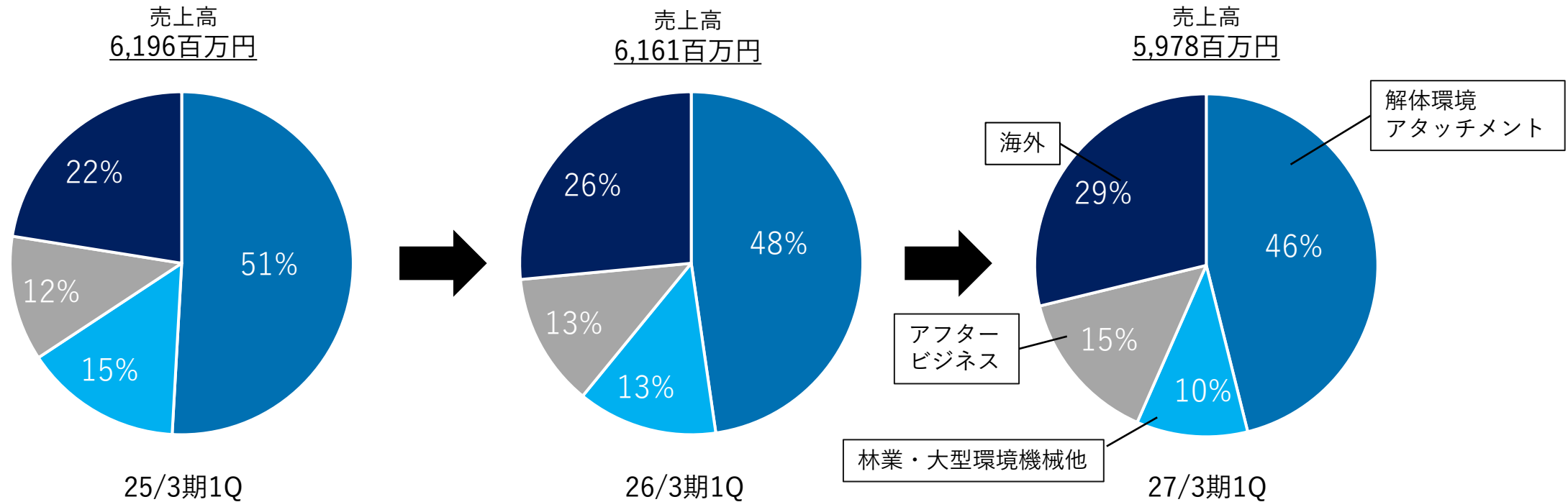
※端数処理により、構成比の合計は100%にならない場合がある

02

セグメント・事業別 売上比率推移（27/3期1Q）

- 圧砕機等の減収を背景に解体環境アタッチメントの構成比は前年同期比低下／林業・大型環境機械他も減収にて低下／海外およびアフタービジネスの増収により両者とも比率は上昇した

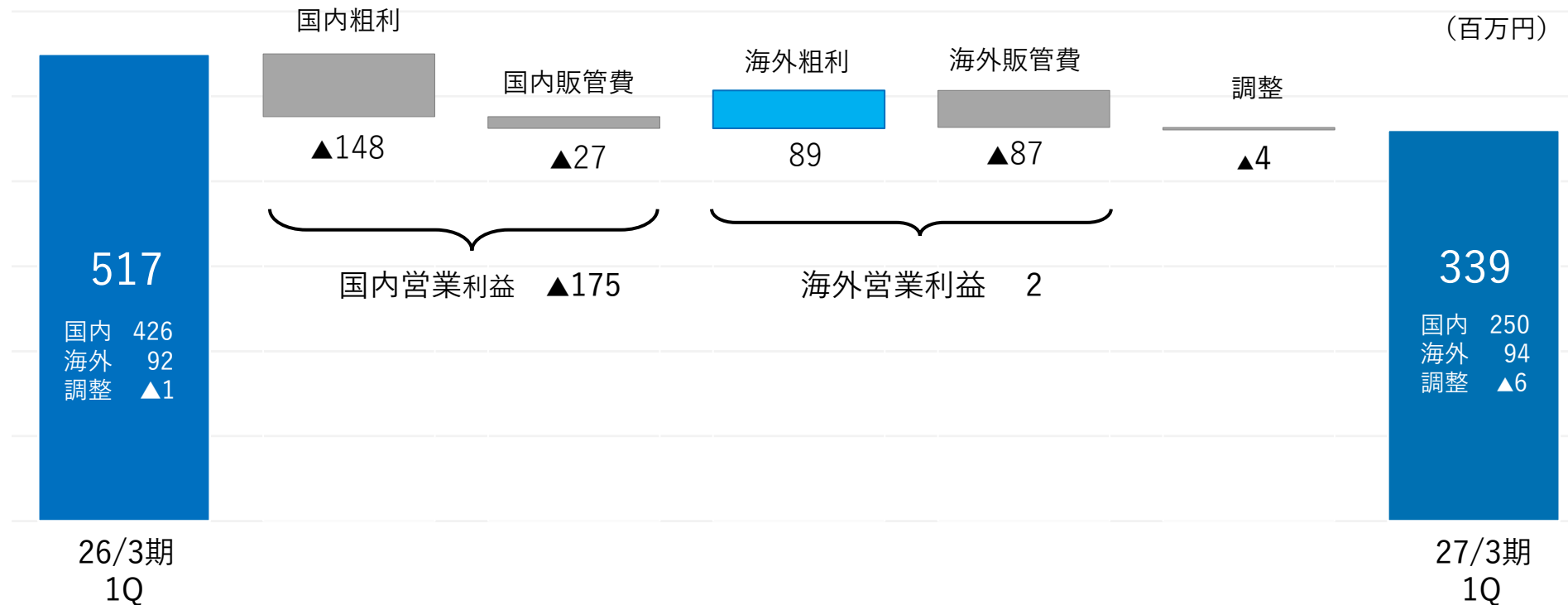
※各セグメント明細は P.5 機種別売上推移参照



02

営業利益増減（27/3期1Q）

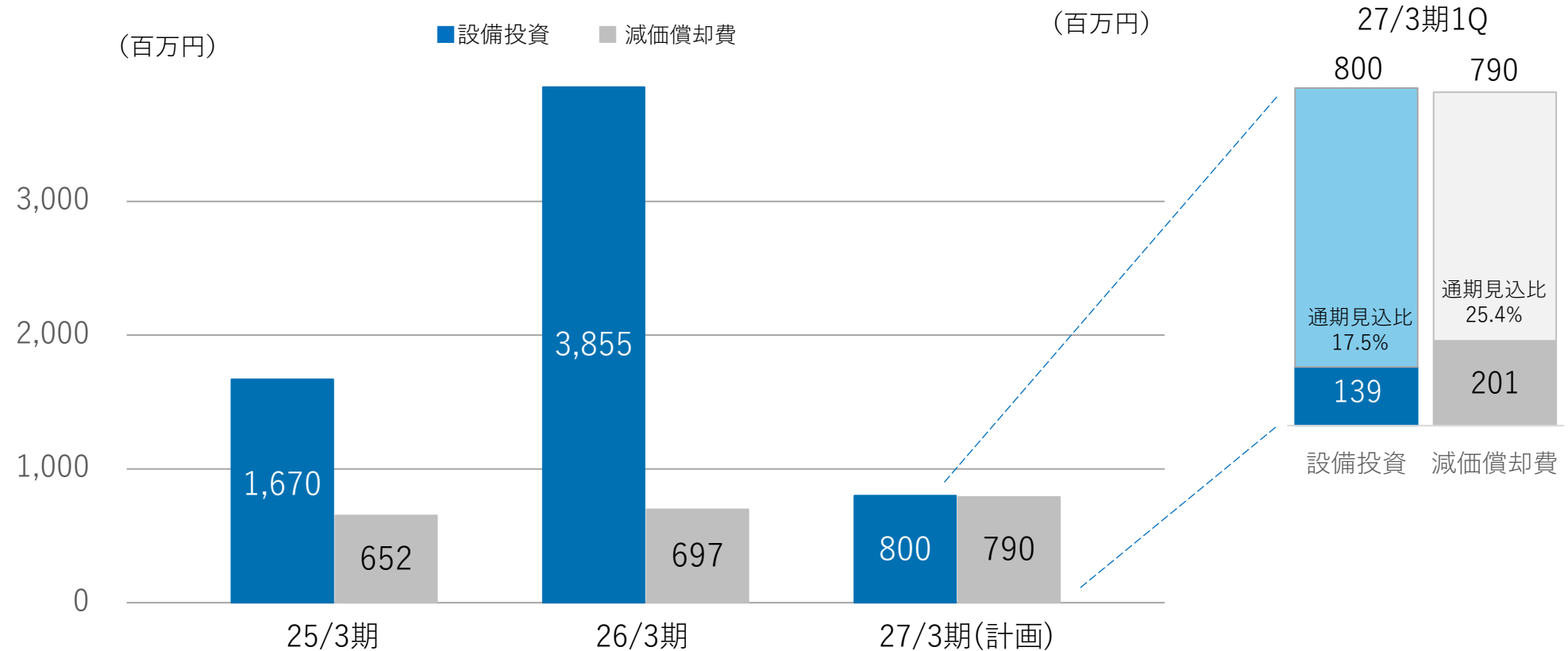
- 国内は、減収による影響等により減益
- 海外は、北米中心の増収による粗利増を、人件費を主因とする販管費増がほぼ相殺し、差引微増益



03

設備投資・減価償却費実績

- 27/3期は、広島営業所隣接地取得、基幹システム刷新費用、そして主に海外市場をターゲットとする圧碎機デモ機取得費用等を計上

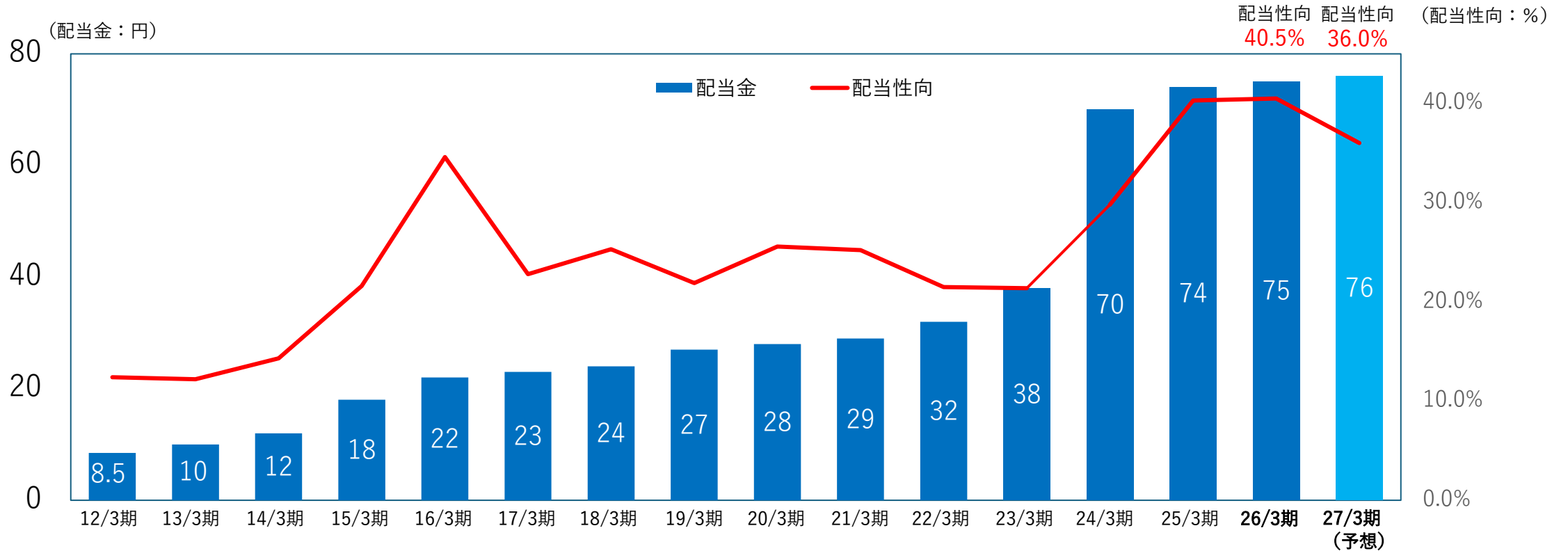


03

株主還元：配当実績と計画

配当方針：事業安定成長のもと、①累進的配当 ②配当性向30%以上 を目標とする

- 26/3期は、前期比1円増配の年間75円の配当を実施
- 27/3期は、前期比1円増配の年間76円の配当を予想（17年連続増配）／中間配当を今期から実施予定



04

新中期経営計画「Onyx（オニキス）」 ― 全体像

- 「利益の質」「成長の再現性」「資本効率」を重視し、企業価値向上を目指す3か年（27/3期-29/3期）のコミットメント計画

■ Onyxの位置づけ

- ・ 長期ビジョン「新VISION30」実現に向けた基盤計画
- ・ 3年間は目標を固定する“やりきるコミットメント計画”
- ・ アドバンテッジ・パートナーズ社（AP社）と連携し、戦略立案からKPI設計・実行管理・成果創出まで一体で推進
- ・ 計画名の由来：Onyx＝ギリシャ語で“爪”。OKADAの“O”と解体アタッチメントの重要部位“爪”に着想し、価値創造の源泉を“つかむ”意志を込める

■ 事業戦略：5つの重点テーマ

- ① 国内事業：QCD強化・価格規律で収益力を強化
- ② アフタービジネス：修理・純正補材・IoTで顧客LTV最大化
- ③ 海外事業：北米を核に再現性ある収益構造へ
- ④ 在庫管理：見える化・KPIで在庫適正化、キャッシュ創出力向上
- ⑤ 新規事業・M&A：規律ある推進で成長を加速

■ Onyxコミット目標（連結）

	26/3期 実績	27/3期 計画	28/3期 計画	29/3期 計画
売上高(百万円)	26,991	28,500	31,000	34,000
営業利益(百万円)	2,261	2,500	2,900	3,400
営業利益率	8.4%	8.8%	9.3%	10.0%
ROE	8.5%	9.1%	9.9%	10.8%

▶ 長期ビジョン「新VISION30」(2031/3期)

売上高 400億円 / 営業利益 40-50億円 / 営業利益率 10-12%
 海外売上高比率 30%以上 / メンテナンスソリューション売上高比率 20%以上

04

「Onyx」現在地と重点テーマ進捗（27/3期1Q）

- 1Qは減収・営業減益となる一方、アフタービジネスや海外売上では、Onyxの狙いに沿った前進も見られた

売上高

5,978百万円

前年同期比3.0%減収

営業利益

339百万円

対通期計画進捗率 13.6%

補材・修理

872百万円

前年同期比12.5%増収

海外売上

1,722百万円

海外売上比率 28.8%

事業環境・課題

- ・売上高・営業利益は、前年同期を下回る（減収・営業減益）
- ・国内では、主力の圧碎機で販売が減少（受注は底打ち・反転し回復基調）
- ・北米では、レンタル各社の在庫調整の影響が徐々に緩和

重点テーマ進捗

- ① 国内事業：主力機種 of 価格改定計画を準備、価格の規律づくりが前進
- ② アフタービジネス：補材価格改定を決定、指定サービス工場へのアプローチを強化中
- ③ 海外事業：北米は大型好調で目標水準を確保、特定地域で売り方を試す取組を実施
- ④ 在庫管理：在庫の見える化とKPIづくりが前進
- ⑤ 新規事業・M&A：特記事項無し

1Qは、Onyx重点施策の実行を開始した局面であり、通期予想は据え置き

本資料に掲載されている計画、見通しに関する内容については、
当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に
基づき判断した予想であり、リスクや不確定要素を含んでいます
従いまして、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約、あるいは
保証するものではありません



オカダアイヨン

お問い合わせ



オカダアイヨン株式会社
IR・広報チーム



soumu@aiyon.co.jp



<https://okadaaiyon.com>